

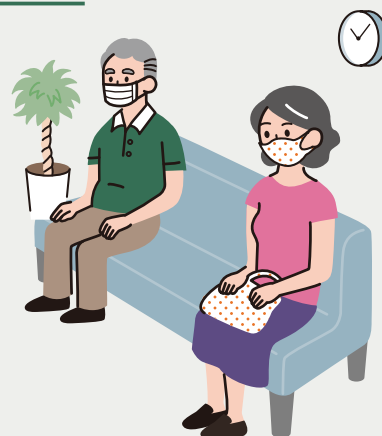
新型コロナワクチンを受けた後の注意点

ワクチンを受けた後は
**15分以上は接種会場で
座って様子を見てください。**

お待ちの間も、感染対策をお願いします。

(マスクをする、隣の人と距離をとる、会話を控えるなど)

※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。



接種日当日

■ 接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

| | |
|----------|---|
| アナフィラキシー | <ul style="list-style-type: none"> 薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。 |
| 血管迷走神経反射 | <ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。 |

ワクチンを受けた日の
注意点

- 通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。



数日

■ 接種後数日以内に現れることがある症状

| 発現割合 | 症状 |
|--------|-----------------------------|
| 50%以上 | 接種部位の痛み、疲労、頭痛 |
| 10-50% | 倦怠感、悪寒、関節痛、吐き気、接種部位の熱感・かゆみ |
| 1-10% | 発熱、嘔吐、接種部位の腫れ・発赤・硬結、四肢痛、無力症 |

バキスゼブリア(アストラゼネカ社)添付文書より改編

- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や筋肉痛、発熱など、1回目接種後の方が2回目より頻度が高い症状もあります。

約1か月

ごくまれですが、ワクチン接種後に血小板減少症を伴う血栓症(※1)や毛細血管漏出症候群(※2)、ギラン・バレー症候群等の脱髄疾患(※3)を発症した例が、海外で報告されています。次のような症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。

- (※1)持続する激しい頭痛、目のかすみ、息切れ、錯乱、けいれん、胸の痛み、足のむくみや痛み、持続する腹痛、接種部位以外の内出血(あざ)などの症状がみられます。
- (※2)手足のむくみ、低血圧などの症状がみられます。
- (※3)手足の力が入りにくい、しびれなどの症状がみられます。

◎新型コロナワクチンに関する相談先

副反応等の症状が現れたら

埼玉県新型コロナワクチン専門相談窓口

☎ 0570-033-226 24時間 土日祝日も看護師等が相談に応じます。

※相談窓口は、電話でのアドバイスを行い、相談者の判断の参考としていただくもので、医療行為ではありません。あらかじめご理解のうえ、ご利用ください。



詳細・最新情報はこちら
(埼玉県HP)

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金の給付など)が受けられます※。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

※その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

ワクチンは2回接種します

●1回目の接種の方へ

- ・ワクチンの効果を十分得るために、同じワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。
- ・2回目の接種は、本日(1回目)から通常4週間から12週間空けて、受けてください。
- ・2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関・接種会場や自治体の案内をご確認ください。
- ・接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種を受けない方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

●2回目の接種の方へ

- ・ワクチン接種はこれで終了になります。
- ・接種後は、1回目と同様に体調に変化がないか注意してください。



ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ十分にはわかっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体的には、「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索

